

クリエイティブクラスター創生で、大阪の地域産業活性化に貢献 今年度も“顔の見える関係づくり”のための活動を継続的に実施

～ものづくり企業とデザイナーの共同商品開発など、これまでの連携・協業事例は約1900件～

クリエイター（※1）支援施設「クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町」（所在地：大阪市北区 所長：堂野 智史）は、12年目となる活動を開始、今年度（2014年5月～2015年4月）も“クリエイティブクラスター”（※1）創生を目指し、顔の見えるネットワークの構築、新たなビジネスの創出など、大阪のクリエイティブ産業が活動しやすい事業環境整備に取り組みます。

（※1）相乗効果の生まれるクリエイティブ産業の集積のこと。
クリエイティブ産業とは、IT、デザイン、イラスト、ライティング、写真、映像、音楽などの事業。

■顔の見える関係から生まれる協業

大阪のクリエイティブ企業は約14,000社（※2）と、東京に次ぐ全国2番目の集積があります。地理的に集中したクリエイティブ分野の関連企業、印刷会社などのサービス提供者、大学などの関連機関が競争しつつ緩やかに協力しあう（＝クリエイティブクラスターの創生）ことで地域産業の活性化を目指します。メビック扇町では、その基盤として関係者同士の顔の見える関係によるコミュニティ形成に取り組んでおり、これまで約1900件の連携・協業事例が生まれています。

（※2）総務省「経済センサス」平成21年版より

■全国ネットワークを拡大 大阪のクリエイター情報を広く発信

クリエイティブクラスター創生活動として、26名の現役クリエイターがコーディネーターとしてクリエイティブ企業を訪問、メビック扇町のサイトなどで情報を発信します。少人数ミーティング、企業とクリエイターとのマッチングイベント、展示会など今年度も年間100回以上のリアルで出会う場を作り、競争と協調を生み出す顔の見える関係を構築します。

活動2年目となるエリアサポーター（※3）は、昨年度の75人から今年度は103人に増員し、全国各地で連携をさらに強化します。また6月21、22日には、大阪のクリエイティブ関連企業と共に、台湾で開催された「JAPANESE DESIGN EXHIBITION IN TAIWAN 2014」に初出展しました。今後は大阪のクリエイター情報を海外にも積極的に発信していく予定です。

（※3）大阪府を除く全国のクリエイターやクリエイター支援者などが、各地で大阪のクリエイターの認知度を高める活動を行う。

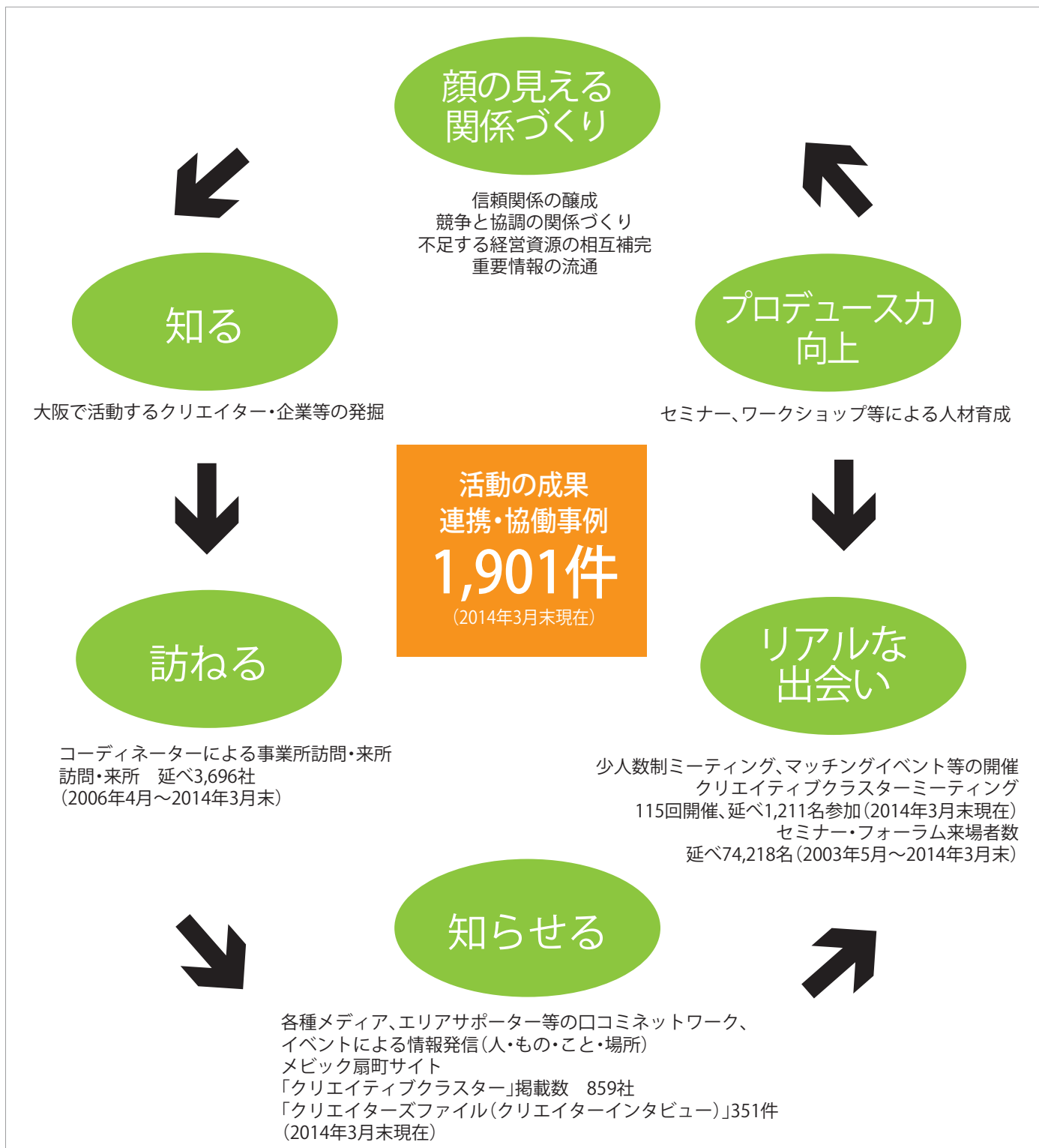


「JAPANESE DESIGN EXHIBITION IN TAIWAN 2014」
2014年6月21日～22日 東海大学(台湾台中市)

クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町とは

メビック扇町は、2003年5月に大阪市経済局（現：大阪市経済戦略局）が設置し、公益財団法人大阪市都市型産業振興センターが運営するクリエイター支援施設です。2007年4月より「クリエイティブクラスター創生事業」を開始。メビック扇町では、大阪で活動するクリエイターたちが互いに知り合い、顔の見える関係を築くための新しいコミュニティづくり、大阪に集積するクリエイティブ関連企業の活性化に取り組んでいます。

■メビック扇町の実施事業 イメージ図



本件に関するメディアからのお問い合わせ先

クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町

広報担当：松井

〒530-0025 大阪市北区扇町 2-1-7 関テレ扇町スクエア 3F

TEL:06-6316-8780 (平日 10:00 ~ 21:30)

FAX:06-6316-8781

e-mail:info@mebic.com

ホームページ : <http://www.mebic.com/>